

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

					事業区分	重点	
事業名	東京五輪を契機とした文化振興推進事業						
所管課	経済観光文化局文化振興部文化振興課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か				施策成果指標
開始年度	平成29年度		2020年東京五輪に向けて、全国で様々な主体による日本文化の魅力発信する事業を「文化プログラム」として推進していくこととしている。福岡市においても、国の動きを踏まえながら、東京五輪とその翌年の世界水泳にむけて、福岡独自の歴史・文化の魅力を福岡市文化プログラムとして、一体的に広く展開、発信していくことで、文化芸術による豊かで潤いのある市民生活の実現と世界に向けた福岡市のプレゼンスの向上を目指す。				
根拠法令	なし						
行政計画	福岡市文化芸術振興計画						
施策コード	主 1-4-1 再 5-1-2					文化芸術を鑑賞する市民の割合 (H34年度目標値: 75%)	
分野別目標	一人ひとり心豊かに暮らし、元気に輝いている					入込観光客数 (H34年度目標値: 2,000万人)	
施策	心豊かに文化芸術を楽しむまちづくり						
事業群	文化芸術の振興						

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 市民、国内・国外からの観光客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか ・文化芸術による豊かで潤いのある市民生活の実現。 ・文化芸術を通して福岡の魅力を世界に発信することで、福岡市のプレゼンスの向上及び、市内への誘客を促進。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・国が推進する「beyond2020 プログラム」の認証組織として、市事業をはじめ民間、市民団体など多様な主体による文化事業の認証を開始した。 ・認証された事業を「福岡市文化プログラム」として専用のサイトを通して、情報発信を行った。 ・福岡市文化プログラムリーディング事業として、博多旧市街ライトアップワークと連携し、博多部(博多旧市街エリア)の寺院・公園などを会場に、現代アートを展示し、歴史性と新規性が融合した、大人も子どもも楽しめる新たな魅力を創出する「博多旧市街まるごとミュージアム」を実施した。(春に予定していた「福岡城まるごとミュージアム」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。)
-----------------	---

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計		13,654
歳入	特定財源	0
	一般財源	13,654
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H30	R2
歳出合計	12,212	0
歳入	特定財源	0
	一般財源	12,212

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・福岡市文化プログラムの取組の方向性を提示し、福岡の歴史文化の魅力発信する事業を実施 ・福岡市がbeyond2020プログラムの認証組織となる。 ・福岡市文化プログラムについて一体的に情報発信	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・市民、民間団体、行政など多様な主体が行う市内の様々な文化事業をbeyond2020として認証することで、市内全体で多様な文化事業が一体的に展開されるとともに、国や市の情報サイトを通して、国内外に発信される。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・市内の文化事業に、市民が触れる機会が増加し、「文化芸術を鑑賞する市民の割合」が高まる。 ・福岡独自の文化芸術事業が都市の魅力・ブランドとして定着し始め、文化芸術事業を目的とした「入込観光客数」が増加する。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・福岡市の文化芸術の振興がはかられ、豊かで潤いのある市民生活が実現される。 ・観光集客における福岡市の優位性が高められ、更なる集客に寄与する。
	→	→	→	→
	→	→	→	→
	→	→	→	→

活動の指標		実績				目標						
	指標の内容	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	福岡市文化プログラム参加イベント数	目標		500件	500件		R3年度		69.1%	70.5%		R4年度
		実績		450件	340件	1,000件		実績	62.0%	59.8%	72.0%	
達成率			90.0%	68.0%		達成率	89.7%	84.8%		75%		
	目標					R年度					R4年度	
	実績											
	達成率											

成果の指標(KPI)		実績				目標						
	指標の内容	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	文化芸術を鑑賞する市民の割合	目標		69.1%	70.5%		R4年度		62.0%	59.8%	72.0%	
		実績		62.0%	59.8%	1,000件		実績	89.7%	84.8%		75%
達成率			89.7%	84.8%		達成率	-	-		-		
	目標					R年度					R4年度	
	実績											
	達成率											

成果の指標(KPI)		実績				目標						
	指標の内容	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	入込観光客数	目標					R4年度					R4年度
		実績		2,141万人	集計中	1,960万人		実績	-	-		2,000万人
達成率			-	-		達成率	-	-		-		

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	美術館リニューアル事業	
所管課	経済観光文化局美術館運営部事業管理課	背景
開始年度	平成19年度	
根拠法令		
行政計画		
		事業を始めた理由(きっかけ)は何か 老朽化している施設・設備を改修し、ユニバーサルデザインへ対応するとともに、時代や市民ニーズに応える文化芸術振興拠点及び集客交流拠点としての魅力向上を図る。

基本計画			
施策コード	主	1-4-2	施策成果指標
	再	5-1-2	
分野別目標			
施策			
事業群			
			文化芸術を鑑賞する市民の割合 (令和4年度目標値:75%) 文化芸術活動を行う市民の割合 (令和4年度目標値:25%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市美術館を訪れる人(市民, 国内・海外観光客)
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 集客交流拠点としての魅力が向上し、多くの人が福岡市美術館を訪れる状態

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・福岡市美術館リニューアル記念展(H31.3.21～R1.5.26)をはじめ, 魅力的なコレクション展示や特別展を開催 ・コレクションを核としたSNS等による積極的な広報・情報発信 ・カフェ・レストランでのオリジナルメニューの提供やミュージアムショップでのオリジナルグッズの販売等の利便施設の充実 ・美術館でのコンサートやMICEイベントなど, 多彩な集客イベントの開催。 ・ボランティアによる英語ツアーの実施, QRコードを活用した多言語(日・英・中・韓)での作品キャプションの展開
-----------------	--

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計	683,790	
歳入	特定財源	0
	一般財源	683,790
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H30	R2
歳出合計	563,126	689,940
歳入	特定財源	0
	一般財源	563,126

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) 老朽化している施設・設備を改善するとともに、展示室等の拡張、大濠公園側のアプローチやカフェの新設、ユニバーサルデザインへの対応などを行う。 民間活力やノウハウを活用するため、改修及びリニューアル後の維持管理・運営をPFI方式により実施する。	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) 平成31年3月開館 展示室等の機能や美術品の保存環境の向上, 教育普及活動の充実が図られるとともに、アプローチやカフェの新設, 展覧会等における効果的な広報が行われることにより施設としての魅力が向上する。	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) 展覧会の観覧者をはじめ, 市民の憩いの場や, 歴史・文化・観光の発信拠点として, 多様な目的での来館者が増加する。	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) 文化芸術に親しむ市民が増え, 市民の文化環境への満足度が向上する。																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">指標の内容</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">年度</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">実績</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">目標</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">H30年度</th> <th style="width: 10%;">R1年度</th> <th style="width: 10%;">R2年度</th> <th style="width: 10%;">最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"></td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">R 年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">R 年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度		目標				R 年度	実績					達成率						目標				R 年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">指標の内容</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">年度</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">実績</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">目標</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">H30年度</th> <th style="width: 10%;">R1年度</th> <th style="width: 10%;">R2年度</th> <th style="width: 10%;">最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"> 施設利用者数 <small>※H28.9.1～H31.3.20まで休館 また, R1年度はR2.2.27～3.20まで臨時休館</small> </td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">550,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">70万人</td> <td style="text-align: center;">R2年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td style="text-align: right;">14,372</td> <td style="text-align: right;">509,240</td> <td style="text-align: center;">70万人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">92.6%</td> <td style="text-align: center;">70万人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td style="text-align: center;">目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">R 年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	施設利用者数 <small>※H28.9.1～H31.3.20まで休館 また, R1年度はR2.2.27～3.20まで臨時休館</small>	目標	-	550,000	70万人	R2年度	実績	14,372	509,240	70万人	達成率	-	92.6%	70万人		目標				R 年度	実績					達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																													
H30年度		R1年度	R2年度		最終年度																																																																															
	目標				R 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			
	目標				R 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																															
施設利用者数 <small>※H28.9.1～H31.3.20まで休館 また, R1年度はR2.2.27～3.20まで臨時休館</small>	目標	-	550,000	70万人	R2年度																																																																															
	実績	14,372	509,240		70万人																																																																															
	達成率	-	92.6%		70万人																																																																															
	目標				R 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名		日本で唯一の歴史資源活性化事業		事業区分	重点
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か		基本計画 施策コード 主 5-1-1 再 分野別目標 磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている 施策 観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ 事業群 福岡の歴史資源の観光活用 施策成果指標 入込観光客数 (H34年度目標値: 2,000万人) 外国人入国者数 (H34年度目標値: 250万人)	
開始年度	平成24年度	福岡市は、日本で唯一の二重国指定史跡である鴻臚館・福岡城、国宝金印発見の地である志賀島、元寇防塁等の貴重な歴史・文化資源があり、観光振興を図るにあたり活用可能性が高いため。			
根拠法令	なし				
行政計画	なし				
背景					

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	鴻臚館・福岡城、元寇防塁、金印の歴史資源とその周辺エリア	実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	事業費(千円)
	対象をどのような状態にしたいのか	鴻臚館・福岡城、元寇防塁、金印を観光振興におけるキラコンテンツとして磨き上げ、これらが所在するエリアに国内外からの観光客の集客を図る。		・福岡城むかし探訪館、三の丸スクエア、鴻臚館跡展示館の管理運営を行い、観光客の受入環境を整備するとともに、体験型コンテンツやイベントの拠点として活用。 ・三の丸スクエアや福岡城むかし探訪館において着物体験や乗馬体験などの体験型コンテンツを実施。 ・デジタル技術によって復元された福岡城を楽しむAR体験コンテンツを実施。 ・福岡城内を回遊するスタンプラリーやなぞ解きゲーム等のイベントを実施し、鴻臚館跡展示館や多聞櫓等を活用。 ・福岡市公式の「福岡城御城印」を制作し、試行配布(1,000枚)。 ・福岡城内及び周辺で活動する事業者との連絡会を開催。 ・元寇防塁リーフレットを改訂し増刷配布(5,000枚)	

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																														
	・エリア内の観光施設の管理運営 ・歴史資源のユニークベニューとしての活用 ・エリア内でのイベントの実施や招致 ・エリア内での体験型コンテンツの情報発信	・歴史資源及び周辺エリアの認知度が増加、エリアの魅力が伝わる。 ・エリア来訪者の満足度が向上し、口コミ等の拡散が促進される。 ・エリア内で観光客を対象にした民間事業者の参入が進む。	・エリア内の観光客の来訪が増加する。 ・エリア内の回遊性が高まり、滞在時間が増加する。 ・福岡市内の観光スポットとしてにぎわいが生まれる。	・福岡市内への観光客の増加 ・福岡市内の地域経済の活性化 ・福岡市民のシビックプライドの醸成																																																																														
活動の指標	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">民間事業者からの事業提案数</td> <td>目標</td> <td>—</td> <td>7</td> <td rowspan="3">10</td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>—</td> <td>129%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R年度</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	民間事業者からの事業提案数	目標	—	7	10	R年度	実績	—	9	—	達成率	—	129%	—	R年度	目標				R年度	実績					達成率					<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">福岡城むかし探訪館来館者数</td> <td>目標</td> <td>53,000</td> <td>54,000</td> <td rowspan="3">55,000</td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>28,398</td> <td>31,423</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>54%</td> <td>58%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">三の丸スクエア来館者数</td> <td>目標</td> <td>65,000</td> <td>70,000</td> <td rowspan="3">75,000</td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>119,165</td> <td>119,881</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>183%</td> <td>171%</td> <td>—</td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	福岡城むかし探訪館来館者数	目標	53,000	54,000	55,000	R年度	実績	28,398	31,423	—	達成率	54%	58%	—	三の丸スクエア来館者数	目標	65,000	70,000	75,000	R年度	実績	119,165	119,881	—	達成率	183%	171%	—	成果の指標(KPI)	
指標の内容	年度			実績		目標																																																																												
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																													
民間事業者からの事業提案数	目標	—	7	10	R年度																																																																													
	実績	—	9		—																																																																													
	達成率	—	129%		—																																																																													
R年度	目標				R年度																																																																													
	実績																																																																																	
	達成率																																																																																	
指標の内容	年度	実績		目標																																																																														
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																													
福岡城むかし探訪館来館者数	目標	53,000	54,000	55,000	R年度																																																																													
	実績	28,398	31,423		—																																																																													
	達成率	54%	58%		—																																																																													
三の丸スクエア来館者数	目標	65,000	70,000	75,000	R年度																																																																													
	実績	119,165	119,881		—																																																																													
	達成率	183%	171%		—																																																																													

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分 重点

事業名	歴史文化を活かした観光振興事業 (市街化調整区域におけるグリーンツーリズムの推進, 市街化調整区域における観光ビジネス活性化事業, 市街化調整区域における地域滞在型観光振興事業を含む)	
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 福岡市の歴史資源に加え, 都心部と豊かな自然がある海・山が近いというコンパクトシティの特徴を生かし, エリア観光振興を図るため。
開始年度	平成29年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	5-1-1	施策成果指標 入込観光客数 (H34年度目標値: 2,000万人) 外国人入国者数 (H34年度目標値: 250万人)
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に, ささまざまな人がひきつけられている		
施策	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ		
事業群	福岡の歴史資源の観光活用		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市民及び市外からのインバウンドを含む観光客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 福岡市における観光については, 都心部の商業地域におけるショッピングや飲食などがメインとなっているため, 観光振興の経済効果を市内隅々まで行き渡らせるため, 都心部以外のエリアでの観光振興に取り組む必要がある。 そのため, 福岡市内の歴史資源や文化財, 文化施設, 商店街, 自然など, 地域における観光資源の魅力を発掘し, それらを面で繋いだ周遊コースの形成を図るなどの取り組みを行うことで, 観光地としての魅力向上と集客促進を行い, 地域経済の活性化を図っていくものである。

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 【歴史文化を活かした観光振興事業(予算: 1,425千円)】 ○百道, 唐人町, 鴻臚館・福岡城, 博多旧市街エリアにおいて, 文化財等の魅力的な観光資源を繋ぐコレクションラリーの実施を検討。 ※コロナ対策によりイベント延期。 必要なツール(コレクションカード, ノベルティー式)のみ制作し, 実施時期については令和2年度中に検討。 ○博多旧市街マップの多言語化を実施。(既存: 日, 英 新規: 仏, 韓, 中簡, 中繁) 【市街化調整区域におけるグリーンツーリズムの推進(予算: 800千円)】 ○地下鉄野芥駅構内に早良区南部の観光スポット等を掲載した壁面装飾を実施。 ○よかなびへの記事掲載や英語版ガイドマップの配布によるプロモーションを実施。 【市街化調整区域におけるビジネス活性化事業(予算: 1,889千円)】 ○サイクリストに向けた安全対策として, 砂の堆積しやすい「道切部」の清掃を実施。 ○市営渡船志賀島待合所内の観光案内板を改修。
-----------------	--

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
	歳出合計	5,605
歳入	特定財源	0
	一般財源	5,605
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
	歳出合計	6,626 3,314
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	6,626 3,314

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	○市街化調整区域等における観光資源を地元や民間企業と連携して洗い出し, 観光地としてのポテンシャルを引き出すとともに, 課題整理を実施。 ○博多旧市街プロジェクトで取り組んでいる体験型プログラムの造成やまち歩き周遊コースの形成などの取り組みを参考に, 市街化調整区域等における観光推進を図る。	○地元, 民間企業等との協体制の構築。 ○エリアにおける観光資源の見える化。 ○集客への課題整理と, 課題解決策を踏まえた観光施策の発案。 ○エリアの特性を活かした観光プログラムの開発支援や周遊コースの形成し, 効果的なプロモーションを実施。 ○観光地として必要な観光案内板や多言語対応などの受入環境を整備。	○地元住民やエリア内で活動する民間企業のシビックプライドの形成やモチベーションの向上。 ○観光地化するうえでの課題を, 関係者で共有することで, 意識の統一を図り, 各人が自分ごととして集客に向けて取り組むようになる。 ○観光資源を見せることで, 観光客がエリアへの関心を持つ。 ○観光地として必要な案内板の整備や周遊コースなどが掲載されたマップを制作するとともに, エリアならではの体験や食事ができることで, 観光客の満足度が向上する。	○地元, 民間企業主導でエリアの特性を活かした観光施策が展開され, 福岡市全体の観光ポテンシャルが向上する。 ○入込観光客数の増加に繋がる。 ○観光客の満足度向上により, 滞在時間の延長やリピーターの確保に繋がり, 地域の経済活性化が図られる。		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標		
成果の指標(KPI)	志賀島エリアでの外国人レンタサイクル利用者数	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	600	1,000	R 年度	
		実績	945	980	-	
		達成率	157.5%	98.0%	-	
		目標	7	1	R 年度	
		実績	9	1	-	
観光案内板(地区案内板, 誘導板を含む)の改修及び新設数	達成率	128.6%	100.0%	-		
	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	目標	-	-	R 年度		
入込観光客数	実績	2,141万人	集計中		-	
	達成率	-	-		-	
	目標	-	-		R 年度	
	実績	-	-		-	
	達成率	-	-		-	

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	博多旧市街プロジェクト	
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	背景
開始年度	平成29年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		天神ビッグバン、ウォーターフロントNextと歴史が息づく博多部の対比を考えながら街づくりを推進してきた一方で、博多部の歴史・伝統・文化の魅力が十分に認知されておらず、改めて、自分たちが住んでいる地域に興味を持ち、誇りに思う気持ちを育てながら、観光資源としてのポテンシャルを高め、市民や観光客にしっかりと伝える必要があるため。

基本計画				
施策コード	主	5-1-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
施策	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ			
事業群	福岡の歴史資源の観光活用			入込観光客数 (H34年度目標値: 2,000万人) 外国人入国者数 (H34年度目標値: 250万人)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	福岡市民及び市外からのインバウンドを含む観光客
	対象をどのような状態にしたいのか	天神ビッグバンと対をなすプロジェクトとして、中世最大の国際貿易都市であった博多部において、価値ある資源をストーリーとストリートでつなぎ、「博多旧市街」エリアとして、市民や観光客が認知し楽しんでもらえる環境を整え、魅力を高める。
事業目的		

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	○ラグビーワールドカップの時期に合わせ、市民や観光客に旧市街を認知し、楽しんでもらえる環境を整備した。 <博多旧市街フェスティバル実施> ・新規イベント: 忍者アクロバティックショーやスカイランタンなどを実施。 ・既存イベント: ライトアップウォークやまるごとミュージアムなどを集約。 <情報発信> ・まち歩きマップ: 5か国語(日・英・中(繁体字・簡体字)・韓・仏)で多言語化。 ・観光情報サイト「よかなび」内に「ラグビーワールドカップ」特設ページを開設。 ・SNSを活用した情報発信: フェイスブック、インスタグラムを開設。 ・博多旧市街のプロモーションツールとして動画制作。 <沿道装飾> ・博多旧市街提灯: 沿道店舗に掲出しおもてなしの雰囲気醸成。 ○その他、博多旧市街の観光地としてのポテンシャルを高めるため、下記を実施。 ・石畳風舗装整備: 櫛田表参道(H31.3月末)、御供所通り(R1.6月末)を整備。(所管: 道下) ・地下鉄祇園駅の壁面装飾を実施。 ・多言語対応ツアー: 民間連携によりツアー商品の造成とガイド養成講座を実施。 ・博多旧市街土産菓子の登録制度を設け、官民連携での旧市街プロモーションを実施。

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳入	歳出合計	4,706	
	特定財源	0	
	一般財源	4,706	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
	歳出合計	10,821	41,547
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	10,821	41,547

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー（ロジックモデル）

①活動アウトプット
(どんな活動を行うのか)

地域や民間等と連携し、博多旧市街の認知度を向上させるため、下記のことに取り組む。
 <博多旧市街フェスティバルの拡充>
 ・ライトアップウォークでの特設ステージや新規コンテンツ等の実施
 ・寺社内での屋外アート展示(まるごとミュージアム)
 ・博多旧市街エリア内の関連イベントとの連携
 <博多旧市街ブランディング>
 ・地下鉄や民間施設と連携した旧市街ラッピング
 ・Wi-Fiを活用したデジタルマーケティングによる観光動向分析
 <沿道の賑わい創出>
 ・石畳風舗装等の道づくり
 ・街灯装飾、フォトスポットの造成、灯籠の設置などによる街並み雰囲気醸成
 ・音声ARを活用した街歩きガイドコンテンツの制作

②結果アウトプット
(活動の結果、どうなるのか)

○地元、民間企業等との協力体制の構築。
 ・フェスの内容充実、期間延長により、新規・リピーターの誘客に繋げ、認知度向上に繋がる。
 ・若年層やF1層の誘客により、SNSでの情報拡散や地域への経済波及効果に繋がる。
 ・街並みの雰囲気を醸成することで、旧市街の見える化に繋がる。
 ・単なるまち歩きだけではなく、音声ARや多言語ガイドを組み合わせることで観光客の期待度と満足度の向上に繋がる。
 ・「博多旧市街＝観光地」というイメージの定着。
 ・観光地のイメージが定着することで、新たな民間事業者の参入に繋がる。

③中間アウトカム
(その結果、対象はどうなるのか)

○地元住民やエリア内で活動する民間企業のシビックプライドの形成やモチベーションの向上。
 ○雰囲気ある街並みや体験型コンテンツを見せることで、観光客がエリアへの関心を持つ。
 ○まち歩きをさらに楽しめるコンテンツを用意することで、観光客の満足度が向上し、リピーターの確保に繋がる。
 ○観光地として定着することで、新規事業者の参入に繋がり、エリア内の経済活性化に繋がる。

④最終アウトカム
(その結果、市としてどうなるのか)

○地元、民間企業主導で博多の特性を活かした観光施策が展開され、エリアの観光ポテンシャルが向上する。
 ○福岡観光の定番地＝博多に繋がる。
 ○観光客の満足度向上により、滞在時間の延長やリピーターの確保に繋がり、地域の経済活性化が図られる。
 ○入込観光客数の増加に繋がる。

指標の内容	年度	実績		目標	
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
観光案内板(地区案内板, 誘導板を含む)の改修及び新設数	目標	7	1	—	R 年度
	実績	9	1		—
	達成率	128.6%	100.0%		—
地元・民間・行政などの関係者と連携した新規観光施策実施数	目標	—	—	5	R 年度
	実績	—	—		—
	達成率	—	—		—

指標の内容	年度	実績		目標	
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
「博多町家」ふるさと館来館者数	目標	180,000	180,000	200,000	R 年度
	実績	110,766	149,685		—
	達成率	61.5%	83.2%		—
はかた伝統工芸館来館者数	目標	130,000	130,000	130,000	R 年度
	実績	123,600	125,278		—
	達成率	95.1%	96.4%		—

活動の指標

成果の指標(KPI)

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	福岡城跡復元整備事業		
所管課	経済観光文化局文化財活用部 史跡整備活用課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 本市を特徴づける歴史的文化資源を磨き上げ本市の観光・集客の核とするため
開始年度	平成26年度		
根拠法令	文化財保護法		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	5-2-1	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	緑と歴史・文化のにぎわい拠点づくり		
事業群	市民の憩いと集客の拠点づくり(大濠公園・舞鶴公園の一体的な活用等)		

施策成果指標
 過去3年間に福岡城跡(舞鶴公園)に行ったことがある市民の割合(R4年度目標値:60%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 国史跡福岡城跡
	対象をどのような状態にしたいのか 福岡城跡を魅力ある歴史資源として磨き上げ、観光・集客の拠点とするとともに、歴史的価値を後世に確実に継承する。 また、使える身近な史跡として積極的な公開・活用を図る。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 歴史資源としての磨き上げのため、「国史跡福岡城跡整備基本計画」に基づいた整備を行った。具体的には、石垣保存修理工事、潮見櫓復元に向けての取り組みに着手した。 積極的な公開・活用を図るため、福岡城を含む市内史跡全体のイベント案内およびこどもを対象とした史跡学習ツールを作成し、城内施設での配布・HPでの公開を7月より行った。また、こどもを対象とした福岡城体験イベント「福岡城お城たんけん」を実施した。 使える身近な史跡とするため、舞鶴公園内の事業者と協力し、福岡城下町七夕まつり(7月)、福岡城下町サムライフェア秋の陣(10月)のイベントを実施した。また、ユニークベニュー促進のため「福岡城・鴻臚館文化財ユニークベニューガイド」を作成し10月よりHPで公開した。また、民間活用によるユニークベニュー「てのひら盆栽づくりat多聞櫓」を10月に実施した。
-----------------	--

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計	85,465	
歳入		
特定財源	69,916	
一般財源	15,549	
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H30	R2
歳出合計	35,572	149,734
歳入		
特定財源	17,150	136,939
一般財源	18,422	12,795

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) 平成26年度策定の国史跡福岡城跡整備基本計画にそった整備・活用事業を推進する。 市民・観光客がわかりやすく楽しめる環境を整え、広く福岡城の魅力伝えていく。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) 福岡城が広く周知されるとともに、整備事業に対する理解・共感を得る。 また、多くの市民・観光客が訪れ、活発な公開活用が行われる。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) 公開活用事業の推進とともに来訪者が増加し、史跡としての福岡城跡の認知度も向上する。 また、福岡城整備基金の寄付額が増加する。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) 福岡城が都心部における観光・集客の拠点となる。 また、市民の誇りとしてアイデンティティ形成の核となり、郷土の歴史を知る場となる。																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">指標の内容</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">年度</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">実績</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">福岡城むかし探訪館及び三の丸スクエアの来館者数</td> <td>目標</td> <td>118,000</td> <td>124,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">130,000</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>147,563</td> <td>151,304</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>125.1%</td> <td>122.0%</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	福岡城むかし探訪館及び三の丸スクエアの来館者数	目標	118,000	124,000	130,000	R10年度	実績	147,563	151,304	25,000	達成率	125.1%	122.0%	25,000		目標				R 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">指標の内容</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">年度</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">実績</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">福岡城整備基金の寄付額</td> <td>目標</td> <td>25,000</td> <td>25,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">25,000</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>26,667</td> <td>30,226</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>106.7%</td> <td>120.9%</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	福岡城整備基金の寄付額	目標	25,000	25,000	25,000	R10年度	実績	26,667	30,226	25,000	達成率	106.7%	120.9%	25,000		目標				R 年度		実績						達成率			
指標の内容	年度			実績		目標																																																																															
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																
福岡城むかし探訪館及び三の丸スクエアの来館者数	目標	118,000	124,000	130,000	R10年度																																																																																
	実績	147,563	151,304		25,000																																																																																
	達成率	125.1%	122.0%		25,000																																																																																
	目標				R 年度																																																																																
	実績																																																																																				
	達成率																																																																																				
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																	
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																
福岡城整備基金の寄付額	目標	25,000	25,000	25,000	R10年度																																																																																
	実績	26,667	30,226		25,000																																																																																
	達成率	106.7%	120.9%		25,000																																																																																
	目標				R 年度																																																																																
	実績																																																																																				
	達成率																																																																																				

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	まち歩き観光振興事業(観光案内ボランティアの充実強化)	
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光産業課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部地域観光推進課	背景
開始年度	平成3年度	
根拠法令	なし	
行政計画		
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
市民や来訪者に対し、本市を正しく理解、認識してもらうため、福岡市が募集・研修養成を実施。平成7年のユニバーシアード福岡大会開催に向けての市民ホスピタリティの向上を見据えて設立した。		

基本計画			
施策コード	主	5-3-1	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり		
事業群	おもてなしの向上		
施策成果指標			
観光案内ボランティアの案内人数目標 (H34年度目標値: 15,000人)			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	福岡市民・福岡市を訪れる観光客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	福岡市を訪れる多くの訪問客に、ガイドの巧みな話術とおもてなしで、快適にまちをめぐり、魅力に触れて満足していただくことで、福岡市のファンを増やす。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内ボランティアガイドの新規募集を実施 ・クルーズセンターでクルーズ客への観光案内(本格実施) ・ラグビーワールドカップ開催に向けたおもてなし人材育成研修への講師派遣 ・観光客等の派遣依頼にともなう観光案内活動 ・市役所ロビーに1名、「博多町家」ふるさと館に1名が毎日(12/28~1/3を除く)常駐し、無料の定時ツアーや周辺の観光案内を実施。 ・企画募集型のまち歩きツアーを定期的実施。 ・鴻臚館・福岡城バーチャル時空散歩の実施。 ・博多情緒めぐり期間中のまち歩きの実施。 ・本市で開催される大会、祭り、イベント等の参加者に対する案内。

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計		5,729	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	5,729	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳出合計	5,094	5,729	
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	5,094	5,729

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)																																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> ○まち歩きイベントの開催 ○派遣依頼に伴う観光案内活動 ○ボランティアガイドの人材育成 ○まち歩きコースの新規開発 ○観光案内ボランティアガイドの新規募集 ○広報展開(HP,チラシ配布等) ○多言語対応等のインバウンド対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光まち歩きコースの新規造成により、エリアの魅力を発信する機会が増える。 ○観光案内ボランティアガイド登録者増、スキルアップにより、ボランティアガイド人材が充実する。 ○まち歩きコースの案内件数が増える。 ○参加者の多様なニーズに対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○魅力的なまち歩きコース造成により、福岡を訪れる観光客の満足度が上がる。 ○観光案内ボランティアガイドのスキルアップにより、まち歩きの魅力が増し、リピーターの増加につながる。 ○インバウンド対応等により、訪日外国人観光客の参加者が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○入込観光客数の増加に繋がる。 ○観光客の満足度向上により、滞在時間の延長やリピーターの確保に繋がる。 																																																																															
	活動の指標	成果の指標(KPI)																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">観光案内ボランティアガイド登録者数</td> <td>目標</td> <td>60</td> <td>60</td> <td rowspan="2">65</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>75</td> <td>60</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>125.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">観光まち歩きコース数</td> <td>目標</td> <td>60</td> <td>60</td> <td rowspan="2">62</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>59</td> <td>61</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>98.3%</td> <td>101.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	観光案内ボランティアガイド登録者数	目標	60	60	65	R4年度	実績	75	60	65	達成率	125.0%	100.0%			観光まち歩きコース数	目標	60	60	62	R4年度	実績	59	61	65	達成率	98.3%	101.7%			<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">観光案内ボランティアの案内人数</td> <td>目標</td> <td>12,300</td> <td>13,000</td> <td rowspan="2">14,000</td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>8,862</td> <td>9,324</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>72.0%</td> <td>71.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	観光案内ボランティアの案内人数	目標	12,300	13,000	14,000	R年度	実績	8,862	9,324	15,000	達成率	72.0%	71.7%			目標				R年度	実績					達成率					
指標の内容	年度			実績		目標																																																																													
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																														
観光案内ボランティアガイド登録者数	目標	60	60	65	R4年度																																																																														
	実績	75	60		65																																																																														
	達成率	125.0%	100.0%																																																																																
観光まち歩きコース数	目標	60	60	62	R4年度																																																																														
	実績	59	61		65																																																																														
	達成率	98.3%	101.7%																																																																																
指標の内容	年度	実績		目標																																																																															
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																														
観光案内ボランティアの案内人数	目標	12,300	13,000	14,000	R年度																																																																														
	実績	8,862	9,324		15,000																																																																														
	達成率	72.0%	71.7%																																																																																
	目標				R年度																																																																														
実績																																																																																			
達成率																																																																																			

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	MICE誘致推進事業(消, 重点)MICEワンストップ体制の運営(重点)	
所管課	経済観光文化局観光コンベンション部MICE推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か MICEは都市の魅力を発信し、裾野の広い関連産業の振興につながるとともに経済波及効果が高く、文化・スポーツ・芸術等の発展にも寄与することから、長期的・政策的に進行を図ることとして開始。
開始年度	平成13年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	5-4-2	施策成果指標 国際コンベンション開催件数 (H34年度目標値:250件) 国内コンベンション誘致件数 (H34年度目標値:160件)
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	交流がビジネスを生むMICE拠点の形成		
事業群	MICE誘致の推進		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	MICEの主催者・参加者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	MICE主催者が福岡市の魅力を知り、福岡を開催地として選択する状態。 また、福岡で開催されたMICE主催者・参加者が福岡の魅力に触れ、個人旅行で再来福したり、広く福岡の魅力を発信する状態。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の展示会・見本市への出展。 ・国際会議協会(ICCA)のデータベースを活用した戦略的なマーケティング活動。 ・市と(公財)福岡観光コンベンションビューロー、(一財)福岡コンベンションセンターの三者で協同の誘致活動を実施。 ・実務者レベルで定例会議を開催し、誘致ターゲットのリスト化や月次レベルの誘致状況等について情報共有を実施。 ・MICE主催者への各種支援(コンベンション開催助成、歓迎バナーの掲出、コンベンションサポートなど)。

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計	61,926	
歳入	特定財源	2,000
	一般財源	59,926
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
歳出合計	64,359	60,537
歳入	特定財源	17,393 57,000
	一般財源	46,966 3,537

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)																																																																																
	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE誘致のためのリサーチ、マーケティング ・MICE主催者・参加者への支援や歓迎演出 	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE誘致対象の発掘 ・MICE開催地としての福岡の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE開催地として福岡市を選択する主催者の増加 ・福岡で開催されたMICE主催者・参加者が福岡の魅力を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市のMICE都市としての認知度向上 ・MICE開催件数増加による市への経済波及効果上昇 ・MICE主催者・参加者への再来福による経済波及効果上昇 																																																																																
	活動の指標	指標の内容	実績	目標																																																																																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	目標				R 年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	目標				R 年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>300</td> <td>310</td> <td></td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>293</td> <td>集計中</td> <td></td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>97.7%</td> <td>-</td> <td></td> <td>増加</td> </tr> </table>	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	目標	300	310		R4年度	実績	293	集計中		増加	達成率	97.7%	-		増加	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>152</td> <td>154</td> <td></td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>146</td> <td>127</td> <td>156</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>96.1%</td> <td>82.5%</td> <td></td> <td>160</td> </tr> </table>	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	目標	152	154		R4年度	実績	146	127	156	増加	達成率	96.1%	82.5%	
年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																
目標				R 年度																																																																																
実績																																																																																				
達成率																																																																																				
年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																
目標				R 年度																																																																																
実績																																																																																				
達成率																																																																																				
年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																
目標	300	310		R4年度																																																																																
実績	293	集計中		増加																																																																																
達成率	97.7%	-		増加																																																																																
年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																																
目標	152	154		R4年度																																																																																
実績	146	127	156	増加																																																																																
達成率	96.1%	82.5%		160																																																																																

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分		重点
事業名	観光プロモーション事業(消費・重点)	
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ推進課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光マーケティング課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 第三次産業への従事者が大多数を占める本市において、観光産業は消費による波及効果の裾野が広く、都市の成長にとって観光客の誘致は非常に効果的であるため。
開始年度	平成26年度	背景
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
【事業概要】		

基本計画			
施策コード	主	5-6-1	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	シティプロモーション、ブランドイメージアップの推進		
施策成果指標	入込観光客数 (H34年度目標値: 2,000万人) 外国人入国者数 (H34年度目標値: 250万人)		

対象	誰(何)を対象として行うのか 国内外の旅行者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 福岡に興味関心を持ち、福岡を訪れる。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 直行便が就航しているアジアや欧米及びオーストラリアなどに対し、九州の各自治体と連携した情報発信や市場の特性に合わせたプロモーションなどを実施。 ○観光関係協議会における情報発信 ○現地説明会開催や観光展出演などでのプロモーション ○オンライン旅行会社のサイトや現地メディアなどを活用した情報発信
-----------------	--

事業費(千円)	
令和元年度決算額(見込額)	
歳出合計	23,174
歳入 特定財源	0
歳入 一般財源	23,174
前年度決算額・翌年度予算額	
年度	H30
歳出合計	27,374
歳入 特定財源	600
歳入 一般財源	26,774

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	招請事業や現地メディアを活用した情報発信、現地プロモーションなどにより観光都市福岡のPRを実施。	現地において福岡市の情報に接する機会が増加する。	福岡市の魅力が訴求され、来福意欲が醸成される。	来福観光客が増加する。	
活動の指標	指標の内容	実績		目標	
情報発信・招請事業の件数	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
	目標	15	15	15	R 年度
	実績	23	21	-	-
	達成率	153.3%	140.0%	-	-
入込観光客数	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
	目標	-	-	-	R 年度
	実績	21,410,000	集計中	-	-
	達成率	-	-	-	-
外国人入国者数	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
	目標	-	-	-	R 年度
	実績	3,094,243	2,694,506	-	-
	達成率	-	-	-	-

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

		事業区分	重点
事業名	戦略的情報発信事業（一部）＜旧：国内外観光プロモーション事業＞		
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光マーケティング課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 来福観光客数を増加させるためには、本市の魅力を発信し認知度の向上を図ることが必要であるため。
開始年度	平成26年度		
根拠法令	なし		
行政計画	なし		
		基本計画	
施策コード	主 5-6-1 再	施策成果指標	入込観光客数 (H34年度目標値:2,000万人) 外国人入国者数 (H34年度目標値:250万人)
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	シティプロモーション、ブランドイメージアップの推進		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか		事業費(千円)		
	国内外の旅行者		福岡おもてなし委員会や(公財)福岡観光コンベンションビューローへ負担金を拠出し、広報物を制作及び配布。	令和元年度決算額(見込額)		前年度決算額・翌年度予算額	
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか	・観光ガイドブックの制作及び配布(作成部数:日本語15万冊, 英語6万冊, 韓国語5万冊, 中文簡体字3万冊, 中文繁体字3万冊, ベトナム語0.5万冊, タイ語0.5万冊, フランス語0.5万冊) ・観光地図の制作及び配布(30万冊) ・観光ポスターの印刷及び配布	福岡に興味関心を持ち、福岡を訪れる。		歳出合計	4,794	
					歳入 特定財源	0	
					歳入 一般財源	4,794	
					年度	H30	R2
					歳出合計	6,440	6,584
					歳入 特定財源	0	0
					歳入 一般財源	6,440	6,584

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)				③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)				④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)			
	観光情報について広報物を制作, 観光展・観光案内所等において配布。		福岡市の情報に接する機会が増加。				福岡市の魅力が訴求され, 来福意欲が醸成される。				来福観光客数が増加する。			
活動の指標	指標の内容		実績		目標		成果の指標(KPI)	指標の内容		実績		目標		
	観光ガイドブックの発行部数	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度		入込観光客数	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
		目標		-	-	R 年度			目標	-	-	-	R 年度	
		実績	635,000	635,000	-	-			実績	21,410,000	集計中	-	-	
		達成率	-	-	-	-			達成率	-	-	-	-	
	外国人入国者数	目標				R 年度		目標	-	-	-	R 年度		
実績					-	実績	3,094,243	2,694,506	-	-				
	達成率				-	達成率	-	-	-	-				

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	外国クルーズ客船受入事業	
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課	背景
開始年度	平成20年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		短時間の寄港地滞在時間でクルーズ観光客にスムーズに観光やショッピングを楽しんでいただくために、福岡を十分に満喫していただけるような取り組みを官民あげて実施する必要があるため。

基本計画			
施策コード	主	5-6-2	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	クルーズ客拡大への取り組み		
施策成果指標	外航クルーズ客船の寄港回数 (H34年度目標値:250回)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	クルーズ客
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	スムーズに観光やショッピングを楽しみ、クルーズ客の満足度が上がる。

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ●着岸場所(岸壁・博多港国際ターミナル)での対応 ●クルーズセンターでの語学ボランティアによる観光案内の実施等 ●岸壁での歓迎演出の実施 <ul style="list-style-type: none"> ●受入体制等の充実 ●九州観光推進機構と連携した多言語ガイド研修の実施

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計	6,410		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	6,410	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳出合計	7,603		7,160
	特定財源	0	
歳入	7,603		7,160
	一般財源	7,160	

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	ボランティアの配置等受入態勢の充実を図る。	クルーズ客に対して, 十分な観光案内が可能となる。	クルーズ客の満足度が上がり, 福岡への再訪意欲が高まる。	クルーズ客が増加する。		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標				R 年度
実績						
達成率						
成果の指標(KPI)	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	目標	330	280		R 年度	
	実績	264	206	-	-	
	達成率	80.0%	73.6%			

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

					事業区分	重点	
事業名	戦略的情報発信事業（一部）＜旧：外国クルーズ客船受入事業＞						
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か				施策成果指標
開始年度	平成20年度		短時間の寄港地滞在時間でクルーズ観光客にスムーズに観光やショッピングを楽しんでいただくために、福岡を十分に満喫していただけるような取り組みを官民あげて実施する必要があるため。				
根拠法令	なし						
行政計画	なし						
		基本計画					
施策コード	主	5-6-2		外航クルーズ客船の寄港回数 (H34年度目標値:250回)			
	再						
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている						
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進						
事業群	クルーズ客拡大への取り組み						

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 観光情報などの広報媒体等を作成し、クルーズ客へ配布。 ・観光マップの増刷及び記念品等の作成:15万枚	事業費(千円)		
	クルーズ客			令和元年度決算額(見込額)		
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか			前年度決算額・翌年度予算額		
	スムーズに観光やショッピングを楽しみ、クルーズ客の満足度が上がる。			年度	H30	R2
				歳出合計	3,425	
				歳入	特定財源	0
				一般財源	3,425	
				歳出合計	2,646	3,425
				歳入	特定財源	0
				一般財源	2,646	3,425

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)						②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)						③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)		④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	クルーズ客にとって分かりやすいパンフレット等を作成する。						クルーズ客がパンフレット等を見て観光しやすくなる。						クルーズ客の満足度が上がり、福岡への再訪意欲が高まる。		クルーズ客が増加する。		
	活動の指標	指標の内容		実績		目標				実績		目標					
		観光マップ等増刷, 作成部数	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
			目標		-	-		R 年度	目標	330	280		R 年度	目標	330	280	
実績			20万枚	15万枚	-		実績	264	206	-		実績	264	206	-		
	達成率	-	-		達成率	80.0%	73.6%										
	目標					R 年度	目標				R 年度	目標					
	実績					実績					実績						
	達成率					達成率					達成率						

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

	事業区分	重点	
事業名	クルーズ船誘致事業		
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 海外船社によるアジアクルーズ市場開拓が進むについて、中国・韓国と近接する博多港のクルーズ寄港地としての需要が増大。客船寄港による経済効果が大いことから、博多港の強みを活かした積極的な誘致活動が必要となっていた。
開始年度	平成21年度		
根拠法令	なし		
行政計画			
基本計画	基本計画		
施策コード	主 5-6-2 再	施策成果指標	外航クルーズ客船の寄港回数 (H34年度目標値:250回)
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	クルーズ客拡大への取り組み		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 船社・旅行代理店等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか クルーズ港としての博多港の認知度・イメージを向上し、北東アジアのクルーズ市場における博多港の地位を確立し、クルーズ客船の寄港増加・定着化につなげる。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか <ul style="list-style-type: none"> ●多様なクルーズ客船の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・海外船社、国内クルーズ関係企業等に訪問し、寄港誘致 ・海外コンベンションに参加し、クルーズ港としての博多港をPR ●博多港発着クルーズの振興 <ul style="list-style-type: none"> ・市民クルーズ、市民船内見学会、岸壁開放による市民お見送り等を実施 ・海外船社による日本海側定期定点クルーズの受入体制を他港と連携し強化 ・福岡クルーズ会議を開催
-----------------	--

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計		7,806
歳入	特定財源	483
	一般財源	7,323
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H30	R2
歳出合計	10,913	6,629
歳入	特定財源	479
	一般財源	10,434
		6,629

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)		①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・船社、旅行代理店等訪問による誘致活動 ・海外コンベンション等での博多港PR ・港での受入体制充実 ・市民クルーズ、市民船内見学会等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・船社、代理店等の寄港地選定権限のあるキーパーソンに、クルーズ港としての博多港が認知される。 ・乗客、乗員の博多港寄港時の満足度が向上する ・博多港へのクルーズ船寄港に対し、市民の認知度や理解度が向上する 	<ul style="list-style-type: none"> ・博多港がクルーズ寄港地に選定される ・博多港のクルーズ港としてのイメージが向上する ・博多港発着クルーズの市場が拡大する 	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客船寄港及び乗客・乗組員による市内への経済効果が見込まれる ・クルーズ拠点港として国内外へ博多港をPRすることができる 	
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	指標の内容
			年度	年度	年度	年度
			H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
	海外クルーズコンベンションへの参加回数	目標	2	2	R 年度	
		実績	2	2	-	
		達成率	100.0%	100.0%	-	
		目標			R 年度	
		実績				
		達成率				
	外航クルーズ客船の寄港回数(暦年)	年度	年度	年度	年度	
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
		目標	330	280	R 年度	
		実績	264	206	-	
		達成率	80.0%	73.6%	-	
		目標			R 年度	
		実績				
		達成率				

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	クルーズ船観光客の受入調整	
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課	背景
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 寄港地観光の訪問先が固定化する傾向にあり、訪問先周辺における交通混雑や経済効果が見えづらい要因となっているため、訪問先・時間の分散化やFITの振興等によるツアーの多様化・上質化に取り組む。	

基本計画			
施策コード	主	5-6-2	
	再		
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	クルーズ客拡大への取り組み		
			施策成果指標
			外航クルーズ客船の寄港回数(※暦年)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか クルーズ客
	対象をどのような状態にしたいのか クルーズ客の満足度が向上するとともに、クルーズ船寄港による経済効果が地域へ広く波及される。
事業目的	

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・寄港地観光手配予約システムを活用した訪問先・時間の分散化 ・船社と連携した、TV番組による観光地紹介や旅行社のFAMツアーを実施

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
	歳出合計	11,213	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	11,213	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
	歳出合計	11,530	12,413
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	11,530	12,413

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)		
	・クルーズ客用観光バスの訪問先・時間の分散化 ・FIT(訪日外国人個人旅行)の振興等による寄港地観光ツアーの多様化・上質化	・クルーズ客用観光バスの訪問先・時間が分散化する。 ・多様な寄港地観光ツアーが造成される。	・クルーズ客の満足度が向上するとともに、クルーズ船寄港による経済効果が地域へ広く波及される。	・クルーズ客が増加する。		
	指標の内容	実績	目標			
	活動の指標	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標				R 年度
実績						
達成率						
	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
成果の指標(KPI)	目標	330	280		R 年度	
	実績	264	206	-	-	
	達成率	80.0%	73.6%			
	目標				R 年度	
	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	目標				R 年度	
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	観光バス受入環境の改善	
所管課	(旧所管課)経済観光文化局観光コンベンション部観光ブランド・クルーズ課 (現所管課)経済観光文化局観光コンベンション部クルーズ課	背景
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 福岡空港・博多港からの外国人入国者数が急増等を背景とした観光バスによる訪問先周辺の交通課題の解消を図るため、観光バスの受入環境の改善に取り組む。	

基本計画			
施策コード	主	5-6-2	
	再	5-3-2	8-1-2
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	クルーズ客拡大への取り組み		
	施策成果指標		
	外航クルーズ客船の寄港回数(※暦年)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 観光バスを利用した観光客
	対象をどのような状態にしたいのか 観光バスによる訪問先周辺の交通課題が解消され、周辺の市民生活への影響が軽減されるとともに、観光客の満足度が向上する。
事業目的	

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	・百道浜地区に訪問するクルーズ客用観光バスを対象としたショットガン方式の運用
	・訪問が急増する大濠公園・福岡城跡地区における交通指導員の配置
	・出来町公園における観光バス乗降場の管理運営

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計	37,412		
歳入	特定財源	15,000	
	一般財源	22,412	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳入	歳出合計	42,407	36,713
	特定財源	7,000	0
	一般財源	35,407	36,713

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	
	・交通指導員の配置による駐車場への誘導 ・公有地を活用した乗降場, 駐車場の確保	・観光バスの乗車待ちや駐車場・乗降場への入庫待ちによる路上待機がなくなる。	・観光バスによる訪問先周辺の交通課題が解消され, 周辺の市民生活への影響が軽減されるとともに, 観光客の満足度が向上する。	・観光客が増加する。	
	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	
	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
活動の指標	百道浜地区訪問時における待機場利用率	80.7	86.9	91.4	R 年度
		実績	86.9	91.4	-
		達成率	107.7%	105.2%	
		目標			R 年度
	実績				
	達成率				

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	水素リーダー都市プロジェクト	
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部新産業振興課	背景
開始年度	平成26年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
平成26年12月の燃料電池自動車の市販開始を契機に、国内外において水素エネルギー・燃料電池の市場拡大と関連分野を含めた新たな市場化が見込まれることから、地場企業を中心に水素エネルギーの産業化を進めることとしたため。		

基本計画			
施策コード	主	6-1-1	
	再		
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
施策	産学官連携による、知識創造型産業の振興		
事業群	知識創造型産業の振興		
施策成果指標	情報通信業の従業者数 (2022年度目標値:54,000人)		
	市内大学の民間企業などとの共同研究件数 (2022年度目標値:1,000件)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	地場企業を中心とした水素関連企業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	福岡市で水素関連企業がビジネスに取り組む状態。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> 福岡市は水素社会の実現をめざし、再生可能エネルギーである「下水バイオガス」から水素を製造する、世界初の水素ステーション「福岡市グリーン水素ステーション」を平成26年度に建設し、その水素を「グリーン水素」として活用するプロジェクトを産学官連携で実施した。 令和元年度は、「グリーン水素ステーション」での水素製造に関する耐久性確認及びコスト低減の自主研究など、計4件のプロジェクトに取り組んだ。 そのうち、令和元年11月には技術開発した燃料電池トラックが高速道路を走行したほか、九州大学などと共同で「グリーン水素」を活用した屋外イベントへの電源供給実証を実施した。

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計		37,885	
歳入	特定財源	64	
	一般財源	37,821	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳出合計		36,540	40,820
歳入	特定財源	243	0
	一般財源	36,297	40,820

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	○「福岡市グリーン水素ステーション」の自主研究及び視察対応を行うとともに、市民に対する普及啓発に取り組む。 ○「グリーン水素」の利活用について、水素関連企業などと協議する。	○福岡市の先進的な取組みが認知されることで、新たな水素利活用プロジェクトが組成される。	産学官による国プロジェクト等の水素を利活用した取組みが市内で行われる。(福岡市で水素関連企業がビジネスに取り組む状態)	地場企業などの水素関連企業のビジネス拡大や大学との共同研究の増加が期待できる。	
	指標の内容	実績	目標	実績	
	活動の指標	年度	H30年度	R1年度	R2年度
	国プロジェクト等の新規獲得数	1	1	1	R年度
	実績	1	1	1	-
	達成率	100.0%	100.0%		
	目標				R年度
	実績				
	達成率				

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標	
	水素利活用プロジェクト数	年度	H30年度	R1年度
		目標	3	2
		実績	4	4
達成率		133.3%	200.0%	
	目標		2	
	実績			
	達成率			
	目標		R年度	
	実績			
	達成率			

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	企業立地促進制度の実施	
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部企業誘致課	背景
開始年度	平成14年度	
根拠法令	福岡市企業立地促進条例及び同条例施行規則	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か 立地交付金等の企業立地を促進するための施策を実施することにより、本市への産業を集積し、雇用機会の創出、事業機会の増大及び税源の涵養を図ることにより、本市経済活動の活力の維持及び豊かな市民生活の実現を目指して本制度を開始した。		

基本計画			
施策コード	主	6-2-1	
	再		
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
施策	成長分野の企業や本社機能の立地の促進		
事業群	企業や本社機能の立地促進		
施策成果指標	○成長分野・本社機能の進出企業数(50社/年) ○進出した企業による雇用者数(3,000人/年)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	国内外の企業等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	本市への本社や支社等の拠点設置を推進し、定着させる。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	本市に新たに立地する企業に対し、立地交付金を適用することにより、企業の初期投資を軽減し、国内外企業の立地促進、市内既存事業所の転出防止を図った。 ○交付件数:48件

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計	5,991,435	
歳入	特定財源	4,418,187
	一般財源	1,573,248
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30 R2
歳出合計	1,778,238	6,137,175
歳入	特定財源	1,182 4,137,157
	一般財源	1,777,056 2,000,018

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・企業訪問・企業面談により、立地支援策等の情報提供及び本市のビジネス環境のPR等の企業誘致活動を実施する。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・企業等が本市の立地支援策やビジネス環境に関する情報を入手し、市内立地を検討する。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・本市へ本社、支社等の拠点を設置する。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・本市全体の税収増。 ・本市全体の雇用増。																																																										
	活動の指標	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">企業訪問・面談回数</td> <td>目標</td> <td>800</td> <td>800</td> <td rowspan="3">800</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,076</td> <td>1,197</td> <td rowspan="2">800</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>134.5%</td> <td>149.6%</td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	企業訪問・面談回数	目標	800	800	800	R4年度	実績	1,076	1,197	800	達成率	134.5%	149.6%	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成長分野・本社機能の進出企業数</td> <td>目標</td> <td>50</td> <td>50</td> <td rowspan="3">50</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>57</td> <td>53</td> <td rowspan="2">50</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>114.0%</td> <td>106.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">進出した企業による雇用者数</td> <td>目標</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td rowspan="3">3,000</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,334</td> <td>1,058</td> <td rowspan="2">3,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>44.5%</td> <td>35.3%</td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	成長分野・本社機能の進出企業数	目標	50	50	50	R4年度	実績	57	53	50	達成率	114.0%	106.0%	進出した企業による雇用者数	目標	3,000	3,000	3,000	R4年度	実績	1,334	1,058	3,000	達成率	44.5%	35.3%
	指標の内容	年度			実績		目標																																																							
H30年度			R1年度	R2年度	最終年度																																																									
企業訪問・面談回数	目標	800	800	800	R4年度																																																									
	実績	1,076	1,197		800																																																									
	達成率	134.5%	149.6%																																																											
指標の内容	年度	実績		目標																																																										
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																									
成長分野・本社機能の進出企業数	目標	50	50	50	R4年度																																																									
	実績	57	53		50																																																									
	達成率	114.0%	106.0%																																																											
進出した企業による雇用者数	目標	3,000	3,000	3,000	R4年度																																																									
	実績	1,334	1,058		3,000																																																									
	達成率	44.5%	35.3%																																																											
成果の指標(KPI)																																																														

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	重点分野の企業誘致推進事業	
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部企業誘致課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 地域経済を活性化させ、本市の国際競争力を高めるため、本社機能や外資系企業、クリエイティブ産業などの、成長性が高い分野の企業誘致を推進するとともに、クリエイティブ人材の市内企業への就職・移住支援等を開始した。
開始年度	平成16年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主 再	6-2-1	〇成長分野・本社機能の進出企業数(50社/年 内外国企業等15社) 〇進出した企業による雇用者数(3,000人/年 ※国内企業も含めた合計数値)	
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている			
施策	成長分野の企業や本社機能の立地の促進			
事業群	企業や本社機能の立地促進			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 国内外の企業等
	対象をどのような状態にしたいのか 本市への本社や支社等の拠点設置を推進し、定着させる
事業目的	

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 【外国企業誘致推進事業】 海外におけるプロモーションや、国内外でのセミナー及び企業訪問等の実施、外国企業・投資誘致センター運営、ジェットロ等関連団体との連携を通じ、外国企業等への情報発信や連絡・情報提供等を実施。 ＜令和元年度の主な取り組み事例＞ ベトナム・ダナン、ホーチミンIT関連ビジネスカンファレンスでのビジネスマッチング、ブース出展等(R1.10)/台北、上海ジェットロ対日投資セミナー(R1.11, 12) 【U/Iターン促進事業】 首都圏等で勤務経験のあるIT、コンテンツ等のクリエイティブ関連人材の福岡へのU/Iターンを促進するため、市内企業とのマッチング等の移住・転職支援を実施。 ＜令和元年度実績＞ 転職決定：8名／登録企業：59社／イベント参加者：115名

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計		18,115	
歳入	特定財源	2,626	
	一般財源	15,489	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳入	歳出合計	22,173	13,362
	特定財源	2,000	2,500
	一般財源	20,173	10,862

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・企業訪問・企業面談により、立地支援策等の情報提供及び本市のビジネス環境のPR等の企業誘致活動を実施する。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・企業等が本市の立地支援策やビジネス環境に関する情報を入手し、市内立地を検討する。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・本市へ本社、支社等の拠点を設置する。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・本市全体の税収増。 ・本市全体の雇用増。	
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	
	クリエティブ企業への企業訪問・面談回数	年度 目標 実績 達成率	H30年度 300 457 152.3%	R1年度 300 613 204.3%	R2年度 300 R4年度 300
	成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標	
成長分野・本社機能の進出企業数	年度 目標 実績 達成率	H30年度 50 57 114.0%	R1年度 50 53 106.0%	R2年度 50 3,000 3,000	
進出した企業による雇用者数	年度 目標 実績 達成率	H30年度 3,000 1,334 44.5%	R1年度 3,000 1,058 35.3%	R2年度 R4年度 3,000	

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	商工金融資金・金融対策、経営支援施策普及事業、金融事務費			事業区分	重点
所管課	経済観光文化局総務・中小企業部経営支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
開始年度	昭和24年		中小企業は、大企業と比較すると、金融機関からの融資など新たな資金調達が困難である場合が多い。		
根拠法令	なし				
行政計画	なし				
		基本計画			
施策コード	主	6-3-1		施策成果指標	全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合 (2021年目標値:1.50%)
	再				
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている				
施策	地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化				
事業群	中小企業の振興				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	福岡市内で事業を営む中小企業者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	長期・低利・固定金利の融資制度で金融機関からの資金調達を支援することにより、中小企業者の経営の安定化や事業の拡大等を図る。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	制度改正の実施 ・小口事業資金・創業支援資金の融資限度額を引上げ ・「福岡100」スタートアップ資金の創設 ・ステップアップ資金の対象を拡大 ・第二創業・多角化資金の融資期間を延長 ・経営安定化特別資金の継続実施 ・新型コロナウイルス感染症対策として経営安定化特別資金(特例枠)の保証料を一部0.00%に変更 十分な融資枠の確保:令和元年度融資枠1,665億円 経営支援施策普及事業の実施:市内事業所6,019件を訪問 相談窓口の運営:相談件数11,350件

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計		69,301,574
歳入	特定財源	68,651,926
	一般財源	649,648
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H30	R2
歳出合計	70,963,012	71,035,368
歳入	特定財源	70,132,763
	一般財源	830,249
		790,368

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)				③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)				④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> 融資制度の充実強化 十分な融資枠の確保 経営支援施策普及事業 相談窓口の充実 		<ul style="list-style-type: none"> 市内中小企業者の資金調達の円滑化 				<ul style="list-style-type: none"> 資金繰DIの改善継続 倒産件数減少の継続 				<ul style="list-style-type: none"> 中小企業の振興, 経済の活性化 			
	活動の指標	指標の内容		実績		目標		成果の指標(KPI)	指標の内容		実績		目標	
		経済対策資金を除く新規貸付件数(制度融資は民業補完が基本であり、本指標は制度の進捗評価には直結しない)	年度	H30年度	R元年度	R2年度	最終年度		年度	年度	H29年度	H30年度	H31年度	最終年度
			目標	-	-	-	H年度			目標				H年度
			実績	4,487	5,011	-	-			実績				-
			達成率	-	-	-	-			達成率				-
		経営支援施策普及事業訪問件数	目標	5,000	5,000	5,000	H年度		目標				H年度	
			実績	6,156	6,019	-	-		実績				-	
			達成率	123.1%	120.4%	-	-		達成率				-	

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	商店街の活性化(商店街インバウンド対策支援事業, 商店街社会課題解決型補助金, 商店街活性化パートナー発掘事業)	
所管課	経済観光文化局総務・中小企業部地域産業支援課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 大型商業施設の進出や消費者の消費動向の変化により、商店街が魅力や活力を失い、商店街の地域経済や地域コミュニティを担う機能が衰え、地域が衰退しているため、商店街を再び魅力的で活力あふれるものとする。
開始年度	昭和43年	
根拠法令	中小小売商業振興法, 中小企業振興条例	
行政計画	みんなで応援！中小企業元気都市プラン	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	6-3-2	全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合(2021年目標:1.50%)	
	再			
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている			
施策	地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化			
事業群	商店街の活性化			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	商店街組織
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	商店街組織が行う、経済活動やまちづくり活動への支援を行い、商店街のもつ「地域経済の担い手」「地域コミュニティの担い手」としての機能を発揮し、活性化する。

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で行ったのか
	インバウンド消費の商店街への波及を図るためのハード・ソフト事業への支援や、地域の社会課題解決に向けた取組みを支援し、商店街への集客力の向上を図るとともに、資金や人材が不足している商店街に対し、外部からのアイデアや、その事業実施を行うパートナーを発掘する支援を実施。
	【重点事業】 商店街インバウンド対策支援事業(委託):4団体 商店街社会課題解決型補助金(補助金):3団体 商店街活性化パートナー発掘事業(負担金):2団体

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計	7,716		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	7,716	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳出合計	4,358	2,500	
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	4,358	2,500

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・外国人観光客受入整備の取組みに対する支援 ・地域の抱える社会課題の解決に取組み、商店街の集客力や売上の増加の効果がある取組みに対する支援 ・外部からの新しいアイデアの取込みや、活性化に取組むパートナーの発掘を支援	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) ・市の施策を活用した商店街が、外国人観光客の消費の取込みや、地域の課題解決に取り組むとともに、外部からの新しいアイデアや、そのアイデアに基づく取組みを行うパートナーを発掘する。	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) ・商店街での消費やにぎわいなど、商店街が活性化され、商店街活動が活発になり、新規出店者の増加や、商店街組織への加入が促進される。 ・商店街が地域の課題解決に取り組むことにより、地域との連携が促進され、商店街が地域コミュニティの担い手としての役割が強化される。	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) ・地域経済の担い手である地場中小企業の競争力が強化される。																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">商店街活性化パートナー発掘事業でパートナーとマッチングした商店街数(累計)</td> <td>目標</td> <td>8</td> <td>10</td> <td rowspan="3">0</td> <td>R1年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>137.5%</td> <td>120.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">商店街社会課題解決型補助金を活用した商店街数(累計)</td> <td>目標</td> <td>6</td> <td>7</td> <td rowspan="3">8</td> <td>R2年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>150.0%</td> <td>171.4%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	商店街活性化パートナー発掘事業でパートナーとマッチングした商店街数(累計)	目標	8	10	0	R1年度	実績	11	12	10	達成率	137.5%	120.0%		商店街社会課題解決型補助金を活用した商店街数(累計)	目標	6	7	8	R2年度	実績	9	12	8	達成率	150.0%	171.4%		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">商店街の構成店舗数(1商店街当たりの平均店舗数)</td> <td>目標</td> <td>41.9</td> <td></td> <td rowspan="3">H29年度実態調査比較5%増</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>44.8</td> <td></td> <td>47.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>106.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地域団体との共同事業に取り組む商店街数(地域型・近隣型に占める割合)</td> <td>目標</td> <td>45.9</td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>41.1</td> <td></td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>89.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R4年度	最終年度	商店街の構成店舗数(1商店街当たりの平均店舗数)	目標	41.9		H29年度実態調査比較5%増	R4年度	実績	44.8		47.0	達成率	106.9%			地域団体との共同事業に取り組む商店街数(地域型・近隣型に占める割合)	目標	45.9			R4年度	実績	41.1		50.0	達成率	89.5%		
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																							
		H30年度	R1年度		R2年度	最終年度																																																																								
	商店街活性化パートナー発掘事業でパートナーとマッチングした商店街数(累計)	目標	8	10	0	R1年度																																																																								
実績		11	12	10																																																																										
達成率		137.5%	120.0%																																																																											
商店街社会課題解決型補助金を活用した商店街数(累計)	目標	6	7	8	R2年度																																																																									
	実績	9	12		8																																																																									
	達成率	150.0%	171.4%																																																																											
指標の内容	年度	実績		目標																																																																										
		H30年度	R1年度	R4年度	最終年度																																																																									
商店街の構成店舗数(1商店街当たりの平均店舗数)	目標	41.9		H29年度実態調査比較5%増	R4年度																																																																									
	実績	44.8			47.0																																																																									
	達成率	106.9%																																																																												
地域団体との共同事業に取り組む商店街数(地域型・近隣型に占める割合)	目標	45.9			R4年度																																																																									
	実績	41.1			50.0																																																																									
	達成率	89.5%																																																																												
成果の指標(KPI)																																																																														

※商店街実態調査による指標の把握による

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	正社員就職支援事業		
所管課	経済観光文化局総務・中小企業部経営支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
			各区市民相談窓口で実施されていた、国の事業である高齢者就職相談窓口の廃止に伴い、市民の求職活動の利便性維持のため事業を開始した。
開始年度	平成29年度		
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	6-5-1	
	再		
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
施策	就労支援の充実		
事業群	就労支援の取組み		

施策成果指標	市の施策による就労者数 (R4年度目標値: 1,400人)
--------	----------------------------------

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	就労相談窓口の一般相談を利用する正社員就職希望の求職者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	正社員就職

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<p>①正社員希望者と求人企業とのマッチング強化</p> <ul style="list-style-type: none"> → 正社員就職支援員を1人配置。(週2日) → 求職者の希望や適性等を踏まえて正社員求人を開拓し、求人企業の希望等のすり合わせを綿密に実施。 <p>②相談支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> → 就労相談窓口(一般相談)を巡回する臨床心理士を1人配置。(週2日) → 各区の相談員とともに相談支援を行って、一般相談の支援の中で自信回復や不安解消など精神面のサポートを実施。

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計		4,500	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	4,500	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳出合計		4,500	0
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	4,500	0

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)		<p>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</p> <p>・就労相談窓口を利用する求職者に対し、 → 正社員就職支援員による支援 → 訪問相談員(臨床心理士)による各区での支援を行う。</p>	<p>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</p> <p>・正社員就職希望者が、自分に合った求人(会社)に出会い、応募する。</p>	<p>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</p> <p>・正社員就職希望者が正社員就職する。</p>	<p>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</p> <p>・市の施策による就労者数が増加する。</p>						
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標			
	正社員求人獲得数	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標				R 年度	目標	40.0	55.0		R 年度
		実績	910	615	765		実績	40.6	56.9	55.0	
		達成率	-	-			達成率	101.5%	103.5%		
		目標				R 年度	目標				R 年度
		実績					実績				
		達成率					達成率				

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分 重点

事業名	外国人創業環境形成事業		
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部創業支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成28年度		国家戦略特区の規制緩和の一つとして、外国人が創業する際の在留資格(経営・管理)の取得に関する規制緩和について、法令関係が改正、施行され、制度活用を推進するなかで、市独自の支援メニューを充実し、外国人创业者の環境形成を図る具体的な事業展開が必要であった。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	7-1-1	
	再		
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現		
		施策成果指標	応募件数

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	優れたビジネスプランを持つ外国人创业者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	外国籍の方が創業しやすい環境を整備するため、住居および事業所の賃料補助を実施することで、事業展開に集中し、福岡市から新たな価値や地域の雇用を生む事業者へ成長できる環境を提供したい。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ○補助金の募集活動 外国人创业者へ事業周知を行うため、英語版のHP等でPRを実施。 ○認定事業の採択・補助金の交付 令和元年度に事業認定を行った事業者に対し、住居および事業所の賃料の一定額に相当する額を補助金として支援した。令和元年度 3件 ○認定事業者へのフォロー 認定事業者に対して、事業の実施状況の確認や適宜スタートアップイベント等の紹介をした。 ○海外でのPR スタートアップビザと合わせて、パッケージとして海外でのイベント等で紹介した。

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
	歳出合計	2,877
歳入	特定財源	0
	一般財源	2,877
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30
	R2	
	歳出合計	3,462
歳入	特定財源	0
	一般財源	3,462

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<p style="text-align: center;">①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</p> <p>○優れたビジネスプランをもつ外国人创业者へ、家賃と事業所の賃料に対し補助を実施するための認定事業者の募集を行う。</p> <p>○特区版スタートアップビザおよび新しいスタートアップビザとのパッケージとして海外でのスタートアップイベント等でPRを行う。</p> <p>○外国人创业者および外国人創業予定者に対して、個別に制度説明を行う。</p>	<p style="text-align: center;">②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</p> <p>○外国人创业者の本事業への関心が集まり、募集期間前～募集期間中に問い合わせが来る。</p> <p>○スタートアップビザを活用した外国人创业者の募集件数が増える。</p>	<p style="text-align: center;">③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</p> <p>○事業認定をうけた外国人创业者は、スタートアップが成長していくうえで重要な時期に福岡市から経済的な支援を受けることで、事業に集中することが出来る。</p> <p>○福岡市内での外国人创业者の集積が進む。</p>	<p style="text-align: center;">④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</p> <p>○グローバルな視点をもつ外国人创业者が福岡市に集積することで、新たな価値だけでなく、地域の雇用も創出されるようになる。</p> <p>○外国人创业者だけでなく、チャレンジマインドをもった起業家の集約が進み、グローバル創業都市・福岡が実現する。</p>			
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		
			年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		応募件数	目標	20	10	10	R 年度
			実績	8	9		-
達成率	40.0%		90.0%	-			
	目標				R 年度		
	実績						
	達成率						

成果の指標(KPI)	<p style="text-align: center;">③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</p> <p>○事業認定をうけた外国人创业者は、スタートアップが成長していくうえで重要な時期に福岡市から経済的な支援を受けることで、事業に集中することが出来る。</p> <p>○福岡市内での外国人创业者の集積が進む。</p>	<p style="text-align: center;">④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</p> <p>○グローバルな視点をもつ外国人创业者が福岡市に集積することで、新たな価値だけでなく、地域の雇用も創出されるようになる。</p> <p>○外国人创业者だけでなく、チャレンジマインドをもつ起業家の集約が進み、グローバル創業都市・福岡が実現する。</p>					
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		
			年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		事業認定採択件数	目標	5	5	5	R 年度
			実績	3	3		-
達成率	60.0%		60.0%	-			
	目標				R 年度		
	実績						
	達成率						

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	福岡スタートアップ・サポーターズ協議会事業		事業区分	重点	
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部創業支援課	背景	基本計画		
開始年度	平成24年度		施策コード	主 7-1-1	施策成果指標 新設事業所数 (H34年度目標値:850事業所/年)
根拠法令	なし		再	6-3-1	
行政計画	政策推進プラン		分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している	
			施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり	
		事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現		
事業を始めた理由(きっかけ)は何か					
国内のみならず、アジアや世界で活躍できるような起業家の発掘・育成を通して、「スタートアップ都市・ふくおか」の実現を目指し、もって地域経済の活性化を図ることを目的に平成24年11月30日に設立された。					

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ①市内スタートアップ企業 ②地場中小企業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 新たな事業展開や成長・発展が創出される状態。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか フクオカ・スタートアップ・セレクション ・「フクオカ・スタートアップ・セレクション」を令和元年10月28日、29日、30日に開催。 ・地場企業によるピッチ、ブース出展、商談会など様々なコンテンツを通して、ビジネスマッチングを促進。
-----------------	---

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計	10,416	
歳入	特定財源	0
	一般財源	10,416
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H30	R2
歳出合計	6,614	8,300
歳入	特定財源	0
	一般財源	6,614
		8,300

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	①有望なスタートアップ企業の情報収集・集約。 ②有望なスタートアップ企業に対して、VCや地場中小企業とのマッチング機会を提供する。	①スタートアップ企業とVCとのマッチングがすすむ。 ②スタートアップ企業と地場中小企業のマッチングがすすむ。	①スタートアップ企業が資金調達によってスケールアップする(スケールアップする成功モデルが創出される)。 ②地場中小企業の新たな事業展開や成長・発展が創出される。	①有望な市内スタートアップ企業とVCが積極的にマッチングする環境が形成され、起業→資金調達→成長→更なる起業といった、スタートアップエコシステムが構築される。 ②地場中小企業の競争力・経営基盤の強化が図られる。		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	10	10	10	R 年度
実績		15	17	-		
達成率		150.0%	170.0%	-		
目標		600	600	1,000	R 年度	
実績		1,363	2,200		-	
達成率	227.2%	366.7%	-			
指標の内容	実績	目標	実績	目標		
成果の指標(KPI)	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	目標	50	50	50	R 年度	
	実績	135	146		-	
	達成率	270.0%	292.0%		-	
	目標				R 年度	
	実績				-	
達成率			-			

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

					事業区分	重点
事業名	スタートアップカフェの運営			基本計画		
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部創業支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か			
開始年度	平成26年度		スタートアップ都市づくりの拠点として、スタートアップカフェを開設し、スタートアップの裾野を拡大するための場の提供、及び様々な支援団体のネットワークハブ機能を提供。			
根拠法令	なし					
行政計画	なし					
施策コード	主	7-1-1		施策成果指標	相談対応件数	
	再					
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している					
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり					
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現					

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	創業予定者、創業して間もない企業、個人
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	スタートアップの裾野を広げ、都市の成長を促進する。

実施内容(手段)	令和元年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	スタートアップに関する情報提供・相談・交流機能や創業手続きに関する創業ワンストップ機能、人材のマッチング・再チャレンジや雇用に関する相談などの人材確保支援機能を提供した。
	事業実施場所: Fukuoka Growth Next 福岡市中央区大名2丁目6番11号 (受託事業者: 株式会社九州TSUTAYA) ※H31.3.1からR1.5.29の期間中は市役所1階で開設
	開設日: 平成26年10月11日 令和元年度実績(R2.3末時点) 相談対応件数1,997件 創業関連イベント開催数: 179回 イベント参加者数: 3,729名

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計		65,315
歳入	特定財源	0
	一般財源	65,315
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H30	R2
歳出合計	64,827	64,990
歳入	特定財源	0
	一般財源	64,827

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)				③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)					④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)			
	「スタートアップカフェ」を開設し、コーディネーターによる相談対応やネットワーク構築、各種創業関係イベントの実施		相談対応件数が増加する。				スタートアップカフェのネットワークを活用し、多くの創業者を輩出する。					経済の新陳代謝により、都市の成長が促進される			
	活動の指標	指標の内容		実績		目標		成果の指標(KPI)	指標の内容		実績		目標		
		相談対応件数	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度		開業率向上	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
			目標	1,700	1,800		H年度			目標	13.0	-		R年度	
			実績	2,026	1,997	1,900	-			実績	5.9	-	-	-	
達成率		119.2%	110.9%			達成率	45.4%		-						
	目標				H年度	目標	-	40	40		R年度				
	実績					実績	-	53		-					
	達成率					達成率	-	132.5%							

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分		重点
事業名	スタートアップ支援施設運営事業	
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部創業支援課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 平成24年のスタートアップ都市宣言や平成26年の国家戦略特区の指定を経て、創業の裾野を広げた福岡市では、ロールモデルという成功事例を生み出すために、起業家だけでなく、技術や資金、専門家、支援者、ネットワークなどが揃ったエコシステムを構築し化学反応を起こすような施設を運営するために平成29年4月に官民共働型のスタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」を開設。
開始年度	平成29年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
背景		

基本計画		
施策コード	主 7-1-1	再 なし
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している	
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり	
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 創業して間もない企業、個人
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 地場企業との連携や資金調達の拡大などにより、スタートアップ企業が成長する。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか Fukuoka Growth Nextを中心として、以下の事業を展開 ○Fukuoka Growth Nextのリニューアル 令和元年5月31日に新体制での施設運営を開始。スタートアップの可視化、スタートアップの更なる成長や既存中小企業の第二創業を推進 ○ビジネスマッチング 地場企業や大手企業とスタートアップとの連携や投資を呼び込むためのピッチコンテストやビジネスマッチングを実施 ○成長支援プログラム スタートアップやエンジニア、デザイナーの成長に資するセミナーや勉強会を実施 開設日：平成29年4月12日（リニューアルオープン：令和元年5月31日） リニューアルオープン後の実績（令和2年2月末現在） ビジネスマッチング件数：10,339回 雇用増加者数：76人 投資件数及び投資額：15社約32億円
----------	--

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
	歳出合計	185,161
歳入	特定財源	292
	一般財源	184,869
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30
	R2	
	歳出合計	63,147
歳入	特定財源	0
	一般財源	63,147

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) 成長支援プログラムやセミナー・ピッチ等のイベントを定期的に実施する。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) 企業同士やVCとのビジネスマッチング件数が増加する。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) 販路拡大や投資拡大により、スタートアップ企業が成長する。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) 福岡市から新たな価値やイノベーションが生まれ、雇用創出や地域経済が発展する。		
	→	→	→	→		
	活動の指標	実績	目標	実績	目標	
	ビジネスマッチング件数	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	-	14,000	14,000	R5年度
	実績	19,522	12,054	-	-	
	達成率	-	86.1%	-	-	
	目標				R 年度	
	実績					
	達成率					

成果の指標(KPI)	指標の内容 スタートアップ企業への総投資額(千円)	実績 年度 H30年度 目標 実績 達成率	目標 年度 R2年度 最終年度	実績 年度 H30年度 目標 実績 達成率	目標 年度 R2年度 最終年度	
		年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	-	3,500,000	4,000,000	R5年度
		実績	3,700,000	3,200,000	-	-
		達成率	-	91.4%	-	-

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分 重点

事業名	外国人創業活動促進事業	
所管課	経済観光文化局創業・立地推進部創業支援課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か 《特区制度 H27.12～》 国家戦略特区の規制緩和の一つとして、外国人が創業する際の在留資格(経営・管理)の取得に関する規制緩和について、法令関係が改正され施行された。 《経済産業省制度 H31.1～》 外国人起業家が在留資格「特定活動」を活用し、起業準備活動を行うための制度がH30.12から開始され、福岡市はH31.1に経済産業省から全国で初めて実施団体に認定された。
開始年度	平成27年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画		
施策コード	主 7-1-1 再	施策成果指標 申請件数
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している	
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり	
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市で起業を志す外国人
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 海外から人材の集積や投資の促進を図るとともに、外国人起業家のビジネスを通じてグローバルに展開をする企業が増えることで、「グローバル創業都市・福岡」の実現と新たな雇用を生み出していく。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○外国人への広報 外国人へ本事業を周知する。 ○事業計画の確認、活動確認証明書の交付 ・外国人の事業計画が上陸後の一定期間内に要件を満たす見込みがあるのかなどについて、中小企業診断士に診断を依頼し、市が確認を行う ・見込みのある外国人に対して、市が活動確認証明書を交付する ○事業計画の進捗確認 ・上陸後の一定期間中、事業計画の進捗を確認し、状況に応じてコンシェルジュ等が支援を行う。 ・進捗が良好でない場合は、本国に帰国を促す ○スタートアップカフェ(主にグローバル・スタートアップ・センター)を中心に、外国人の起業相談の受付や支援を実施 ・コンシェルジュが事業化の相談を受け、必要に応じてネットワークにつなぐ
-----------------	--

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
	歳出合計	2,613	
歳入	特定財源	5	
	一般財源	2,607	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R02
	歳出合計	771	7,585
歳入	特定財源	4	6
	一般財源	767	7,579

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	外国人へ事業の周知を行う。 外国人の事業計画を確認する。	本事業を利用して在留資格を取得しようとする外国人起業家が増える。	市内で起業する外国人が増える。	外国人起業家のビジネスを通じてグローバルに展開をする企業が増えることで、海外から人材が集積し、投資や雇用が促進される。	
	指標の内容	実績	目標	実績	
	活動の指標	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
	年度目標	20	20	R年度	R年度
	実績	18	18	10	-
	達成率	90.0%	90.0%	-	-
	年度目標				R年度
	実績				R年度
	達成率				-

成果の指標(KPI)	指標の内容	年度目標	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
	開業率向上	目標	13.0	-	-	R年度
		実績	5.9	-	-	-
		達成率	45.4%	-	-	-
スタートアップビザ利用者の法人等設立件数	目標	-	10	-	5	R年度
	実績	-	11	-	-	-
	達成率	-	110.0%	-	-	-

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	クリエイティブ関連産業の振興		
所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		本市には、都市規模を上回るクリエイティブ関連産業の集積があり、今後も本市の成長エンジンとして地域経済を牽引していくことが期待される中、これらの関連産業について、ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン等業種に応じた産業振興が必要となるため。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	7-3-1		施策成果指標 クリエイティブ関連事業所数 (2021年目標値:2,900事業所)
	再			
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
施策	個人の才能が成長を生む創造産業の振興			
事業群	クリエイティブ関連産業の振興			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内クリエイティブ関連企業 (ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン) ・個人のクリエイター ・クリエイティブ関連分野を専攻している学生
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・企業、個人クリエイターの販路が拡大、収益増加している。 ・クリエイティブ関連企業への就職希望者が就労できている。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○ゲーム ゲーム産業分野では、産学官による福岡ゲーム産業振興機構を通じ、ゲーム業界の人材育成・確保に取り組んだ。
	○映像 映像分野では、海外の商談会に参加し、ビジネスマッチングを実施して、映像コンテンツの販売支援やネットワーク構築を図った。
	○ファッション ファッション産業分野では、地場ファッション産業の活性化に向けた取り組みを商工会議所、福岡県等と一体になって支援した。
	○音楽 音楽分野では、福岡ミュージックマンスに参画し、音楽都市としてのブランディングを図るとともに、一層の集客や関連産業の振興を図った。
	○デザイン デザイン産業分野では、福岡県産業デザイン協議会に参画し、デザイン関連産業の振興を図った。

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計		18,478	
歳入	特定財源	538	
	一般財源	17,940	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳出合計	21,542	18,840	
歳入	特定財源	541	588
	一般財源	21,001	18,252

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) 1.人材育成事業(インターンシップ、コンテスト、セミナー等) 2.販路拡大事業(展示商談会出展支援等) 3.イベントの開催 4.情報発信事業	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・就労希望者が地場企業の必要としているスキルが身に着く。 ・地場企業が国内外のバイヤーと商談できる。 ・イベント等でのクリエイターの発表の場ができる。 ・国内外での事業認知度が上がる。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・人材確保における企業と就労希望者とのミスマッチングが少なくなる。 ・地場企業が販路拡大・収益増加。 ・情報発信により福岡ブランドが定着する。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) 本市にクリエイティブ関連企業が多数集積・ハブ化し、地元学生の就職の受け皿として十分な状態となるとともに、同産業が地域経済を牽引している状態。
	→	→	→	
	→	→	→	
	→	→	→	

活動の指標		実績			目標		
	指標の内容	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	インターンシップ開催回数	目標		2	2		R3年度
		実績		2	2	2	
達成率			100.0%	100.0%		2	
		目標				R 年度	
		実績					
		達成率					

成果の指標(KPI)		実績			目標		
	指標の内容	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	
	市内ゲーム関連企業従業者数(人)	目標		1,800	2,300		R3年度
		実績		2,135	1,941	2,000	
達成率			118.6%	84.4%		2,000	
		目標				R 年度	
		実績					
		達成率					

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	アジアフォーカス・福岡国際映画祭	
所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成3年度	背景 平成元年のよかとぴあ開催、福岡アジア文化賞創設などの“アジア太平洋都市宣言”の旗印のもと行われた一連のアジア施策の一環として、映画を通じて行う文化交流として映画祭が始まった。
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画				施策成果指標 クリエイティブ関連事業所数 (2021年目標値:2,900事業所)
施策コード	主	7-3-1		
	再	1-4-2	5-1-2	
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
施策	個人の才能が成長を生む創造産業の振興			
事業群	クリエイティブ関連産業の振興			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	①市民、観客 ②映像産業関連企業、クリエイター
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	①映画を通じてアジアに対する理解と文化交流を促進する。大勢の観客で賑わう。 ②福岡から優れたアジア映画を世界に発信し、新しい才能を発見、育成する。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	キャナルシティ博多を会場に、質の高いアジア映画の上映に加え、監督や出演者等、招聘ゲストを招いたQ&Aやシンポジウム等を実施した。
	○人材育成事業 福岡で活動する若手映画監督や地元映像企業の作品を上映するプログラムを実施した。
	○商談会「ネオ・シネマップ福岡」 アジア各国からバイヤー・セラーが来場し、完成した映像作品の売買だけでなく、これから撮影をする映像作品の企画ピッチの場を設けた。
	○関連企画 民間主体で実施されている映画・映像イベントと連携し、双方の広報協力を行うなど、映画祭の盛り上げを図った。

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計		37,429	
歳入	特定財源	657	
	一般財源	36,772	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳入	歳出合計	41,150	37,407
	特定財源	467	0
	一般財源	40,683	37,407

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	・映画祭を企画・運営する(作品、ゲスト、シンポジウム、イベント等) ・ポスター、リーフレットの制作やHP、Facebookなどでの情報発信、記者リリースなどより映画祭の周知を図る ・クリエイティブ関連産業事業を企画・運営する	・映画祭を実施し、市民が映画祭に来場する。 ・作品とゲストを招待し、ゲストとの交流事業を実施する ・人材育成事業を実施し、企画・運営する ・クリエイティブ関連イベントを実施する	・国内外の映画・映像関係者が交流する ・日本(福岡)での撮影作品が決定する ・観客数が増える(映画祭に親しみを感じる、誇りに思う市民が増える。) ・新聞や雑誌、テレビなどでのニュースパブリシティが増える	・まちの賑わい創出、ビジネスマッチング、人材育成など新しい機能を組み込み、「クリエイティブ・エンターテインメント都市」づくりに貢献する ・クリエイティブ関連産業の事業所数が増加する		
	指標の内容	実績	目標	実績	目標	
	活動の指標	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	90	80		R 年度
実績		79	61	-	-	
達成率		87.8%	76.3%			
映画祭来場者数	目標	30,000	30,000		R 年度	
	実績	34,457	31,483	30,000	-	
	達成率	114.9%	104.9%			

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標			
	上映作品 (映像作品、関連作品含む)	年度	H30年度	R1年度	R2年度	最終年度
		目標	250	250		R 年度
		実績	338	105	200	-
		達成率	135.2%	42.0%		
目標				R 年度		
実績						
達成率						

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

								事業区分	重点	
事業名	クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業				基本計画					
所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	背景			事業を始めた理由(きっかけ)は何か	施策コード	主 再	7-3-2		施策成果指標
開始年度	平成24年度				市内のクリエイティブ関連企業からは、分野を超えた交流の場やイベント等を通じた情報発信、スタートアップ支援のニーズが高い。クリエイティブ・エンターテインメント分野は、福岡市の強みを活かせる分野であり、時代を担う産業分野として積極的に振興を図る。	分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		クリエイティブ関連事業所数 (2021年目標値:2,900事業所)	
根拠法令	なし				施策	個人の才能が成長を生む創造産業の振興				
行政計画	なし				事業群	エンターテインメント都市づくり				

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ・市内クリエイティブ関連企業 (ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン) ・個人のクリエイター ・クリエイティブ関連分野を専攻している学生
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか ・異業種の枠を超え、企業、クリエイターが活発に交流している。 ・またその交流から、新たなビジネス機会、価値が生まれている。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○アジアンパーティの開催 アジアフォーカス・福岡国際映画祭、福岡アジア文化賞、クリエイティブフェスタの主要事業に加え、アジアとクリエイティブをテーマとした民間企業・団体等の各種事業と連携を図り、「アジアンパーティ」として9月～10月に集中開催。 ○クリエイティブ福岡推進協議会の運営 異業種交流を目的としたセミナー・交流会、ホームページ・SNS等を活用した情報発信事業等を実施。 ○クリエイティブ・フェスタの開催(9月) 国内外に広くPRする広告塔的イベントとして、「The Creators」を開催。50,000人を集客した。
-----------------	---

事業費(千円)		
令和元年度決算額(見込額)		
歳出合計	76,410	
歳入	特定財源	0
	一般財源	76,410
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H30
	R2	R2
歳出合計	82,066	75,865
歳入	特定財源	0
	一般財源	75,865

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)				
	○アジアンパーティの開催 ○クリエイティブ福岡推進協議会(クリエイティブ・ラボ・フクオカ)の事業実施 ・セミナー・交流会等の開催 ・情報発信事業(ホームページ等の運営) ・クリエイティブフェスタの開催	・イベント等でクリエイターの発表の場を提供する。 ・イベント等で市民の方々がクリエイティブ関連分野の最新技術に触れる機会を提供する。 ・企業、クリエイターとの情報交換やネットワーク構築の場を提供する。 ・情報発信を通じて事業の認知度が向上、事業の参加者が増加する。	・企業、クリエイターにおいて異業種間も含めた交流が活発化する。 ・アジアンパーティの時期に国内外のクリエイターが福岡に集まる。	本市にクリエイティブ関連企業が多数集積・ハブ化し、地元学生の就職の受け皿として十分な状態となるとともに、同産業が地域経済を牽引している状態。イベント等を通じて国内・海外への情報発信を通して「クリエイティブ・エンターテインメント都市・ふくおか」のブランディングができています。				
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標
	セミナー・交流会の開催数	年度 目標 実績 達成率	H30年度 5 R1年度 5 20.0%	R2年度 5 最終年度 5	年度 目標 実績 達成率	H30年度 465,000 R1年度 442,000 95.1%	R2年度 465,000 141.9%	最終年度 R3年度 465,000
		目標 実績 達成率		R 年度	目標 実績 達成率		R 年度	

事務事業マネジメントシート（令和元年度実施分）

事業名	アジアビジネス促進・支援事業	
所管課	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部国際経済課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 大企業と異なり、国際ビジネスについて独自の展開や情報の取得が困難な地場中小企業の海外展開を支援するため
開始年度	H21	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	8-3-1	博多港・福岡空港における貿易額	施策成果指標
	再			
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている			
施策	国際的なビジネス交流の促進			
事業群	国際ビジネスの振興			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	地場中小企業
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	・成長著しいアジアへの販路拡大や外国企業との連携強化。 ・福岡フードビジネス協議会を通じて、福岡・九州の地場食品製造企業がまとまって輸出拡大を進め、福岡・九州の食の海外でのブランド化を図る。

実施内容(手段)	令和元年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○福岡アジアビジネス支援委員会(福岡市、福岡商工会議所、ジェトロ福岡、福岡貿易会)の活動を通して、下記事業を実施(共催事業含む) ・セミナー開催:11回 ・展示会・物産展参加支援:5回 ・商談会開催:3回 ○福岡フードビジネス協議会(下記事業を実施) ・共同出展:1回(Food EXPO Kyushu2019) ・商談会開催:2回 ・姉妹都市における展示会や商談会等の実施に協力。 ○ギフトショー/ビューティーショーを活用した商談会 ・招聘企業:10社 ・参加企業:39社

事業費(千円)			
令和元年度決算額(見込額)			
歳出合計		9,891	
歳入	特定財源	2,500	
	一般財源	7,391	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H30	R2
歳入	歳出合計	9,966	6,700
	特定財源	2,500	2,500
	一般財源	7,466	4,200

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																														
	・バイヤーの招聘。 ・展示会(国内・海外)への参加。 ・海外ビジネスに関するセミナー開催。	・海外からのバイヤーを招聘し、地場企業との商談を行う。 ・地場企業がセミナー・展示会に参加する。	・福岡・九州の企業の海外との取引額が増える。 ・福岡市の貿易額(博多港・福岡空港)が増える。	・卸売・小売・物流など市内産業の活性化。 ・人・モノ・情報が集積する福岡のショーケース機能の強化。 ・福岡・九州の食の海外での認知度が高まる。																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">活動の指標 商談件数</td> <td>目標</td> <td>780</td> <td>820</td> <td rowspan="2">850</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>816</td> <td>876</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>104.6%</td> <td>106.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">セミナー参加人数</td> <td>目標</td> <td>300</td> <td>300</td> <td rowspan="2">300</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>820</td> <td>647</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>273.3%</td> <td>215.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	活動の指標 商談件数	目標	780	820	850	R 年度	実績	816	876	-	達成率	104.6%	106.8%			セミナー参加人数	目標	300	300	300	R 年度	実績	820	647	-	達成率	273.3%	215.7%			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">成果の指標(KPI) 博多港・福岡空港における貿易額【億円】</td> <td>目標</td> <td>37,350.0</td> <td>38,000.0</td> <td rowspan="2">39,000.0</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>46,795.2</td> <td>47,284.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>125.3%</td> <td>124.4%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度	成果の指標(KPI) 博多港・福岡空港における貿易額【億円】	目標	37,350.0	38,000.0	39,000.0	R 年度	実績	46,795.2	47,284.1	-	達成率	125.3%	124.4%			目標				R 年度	実績					達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																											
H30年度		R1年度	R2年度		最終年度																																																																													
活動の指標 商談件数	目標	780	820	850	R 年度																																																																													
	実績	816	876		-																																																																													
	達成率	104.6%	106.8%																																																																															
セミナー参加人数	目標	300	300	300	R 年度																																																																													
	実績	820	647		-																																																																													
	達成率	273.3%	215.7%																																																																															
指標の内容	年度	実績		目標																																																																														
		H30年度	R1年度	R2年度	最終年度																																																																													
成果の指標(KPI) 博多港・福岡空港における貿易額【億円】	目標	37,350.0	38,000.0	39,000.0	R 年度																																																																													
	実績	46,795.2	47,284.1		-																																																																													
	達成率	125.3%	124.4%																																																																															
	目標				R 年度																																																																													
実績																																																																																		
達成率																																																																																		